滋賀県レイカディア大学同窓会
日野分会だより
・・な　な　い　ろ・・

滋賀県レイカディア大学同窓会
中部支部日野分会だより
発行日：２０２５年１０月１日
発行者：滋賀県レイカディア大学
同窓会中部支部日野分会
分会長：布施 太一郎
ＴＥＬ：0748-52-4357

レイ大カフェ
敬老の日の企画
分会長　布施太一郎

「観光案内交流施設なないろ」は七つの地域からなる日野町の豊かな自然、歴史、文化を七色の虹であらわしています。

日野駅舎内にありどなたでも利用できるコミュニティスペースで、日替わり店長制度となっておりスペース内の設備を自由に使うことが出来ます。

無理なく続けられるようにと、私達が月一回のペースで開き始めて早や六年が経ちました。レイ大で学んだ仲間が毎月顔を合わせ、近況報告やいろいろな話題を提供する場にしております。

この９月15日は敬老の日と重なりカフェの特別企画として、日野の町が気に入り、アメリカのシアトルから移住してきたジャネットさんにダルシマーの演奏を、そしてわたむきリコダー隊リコピンさんのグループには、リコーダー演奏をお願いしました。大盛況でたくさんの皆さんに楽しんで頂きました。

最後には、リコーダの音色に合わせて「涙そうそう」と「ふるさと」を、全員で合唱してフィナーレとしました。

レイカディア大学を卒業して四半世紀の感慨
第20期　生活科学
斎藤吉太郎

齢９０迄、あと５０日弱とせまりました。思考力、記憶力は減少し、多くなったのは日頃の物忘れ、折々失敗しています。

今春妻に先立たれ、ささやかな家事としつこい腰痛に悩まされ、孤軍奮闘の日々を過ごしています。

レイカディア大学入学の動機は老人大学から名称を変えたことに共感を覚え、第２０期生として草津校生活科学学科に就学しました。

力量もないのに前・後期とも学科長をつとめ、仲間との交流を深めてきましたが、この齢に至ると、思い出す場面も数少なくなりました。

卒業後は中部支部同窓会に折々参加して、平成１７年頃至らぬ身ながら3年間、支部長を担当しました。

高齢化とともに昨今は私の活動参加も遠のいています。

当時と比べると今は、地域に根付いた充実ある活動が多く、日野分会の今後のさらなる活躍が期待されます。レイカディア大学での学びを礎に、同窓生諸氏が和やかに、生気あふれる活動をすすめられることを、祈念してやみません。

（令和７年９月７日記）

学び、人との出会い、体力維持
―石三鳥のレイカディア大学

北近江文化学科
第 46 期生　麻原喜代次

当初予定していた履修日程よりも、かなりハードであるが文学の学びあり、小谷城や安土城跡などの校外学習が良い運動にもなる。

また、授業終了後の交流懇親会も楽しみの一つです。

通学が続けられるのは、近江鉄道のシルバーパスのお陰であり感謝の気持ちで一杯です。

今年は、地区の文化財委員を預かることになり、レイ大で学ぶ事を役立てていきたいと思っています。

その一環として、「日野町文化財保存活用地域計画」に認定された記念事業の協賛で、近日、地区で尾州尾張藩領から伝わる、膨大な古文書（２０４８点）古地図、古から伝わる遺跡、伝承などを、多くの方に知ってもらう場として、「語り部」の立ち上げを計画しました。

「歴史あり、文化あり、自然あり」の、日野町を盛り上げていきたく張り切っています。

ともに学ばん…!!

第 46 期　園芸学科　福本喜美代

８月末に第４５期生の課題学習報告会が開催され、学習の成果を聞かせていただきました。

手鋏を基本として、１５か所の施設や小学校の剪定をされた中での成果と課題の報告や森林保全のための活動に取り組まれ、今後も継続していくと力強い報告でした。

垂直仕立て栽培では、肥料や農薬が不要ということを確かめる取り組みや地域のＯＢやフリースクール、中学校と一緒に花づくり活動をされ、今後の継続についても考えておられる報告など、どの班も１年間、目的をもって熱心に取り組まれたことが伝わる、素晴らしい内容でした。

私は地域活動体験学習では、日野ダリア園でボランティア活動をさせていただきました。

２年生ではどのような取り組みをしたらよいのか分からず、不安もありますが、２３名の仲間とともに楽しく実りある１年にしたいと思っています。

中部支部分会探訪 ②

新入会員の活躍に期待!!

竜王分会長　松瀬徳之助

私たちの分会は、会員数１２名で最高齢者は９７歳ですが実質同窓会活動に参加しているのは１０名で少数の分会です。今年は４５期卒業生が３名入会していただく事となり会員が増えることを喜んでいます。

今年度初めて支部活動として４７期生の学生募集の取り組みをフレンドマート竜王店で行い、町民向けに案内チラシを配布し入学を呼びかけました。

しかし結果は県内の市町で唯一入学生のない町となってしまいました。来年度以降も引き続き募集活動に取り組み、レイカディア大学の周知に努め卒業生の仲間を増やしていきたいと思っています。

このような少数の分会ですので分会独自の活動は行なっていません。竜王町自体が町民のボランティア活動が盛んで会員も既に多くの活動に取り組んでいます。同窓会に臨むものは仲間の交流事業への要望が強く、支部が行うグラウンドゴルフ大会や親睦旅行に積極的に参加してきました。

今年は新入会員が３名ということで分会独自で歓迎会を開催し、併せて会員相互の交流ができたらと考えています。

また、今年は滋賀県において国スポ、障スポが開催されることになり竜王町もスポーツクライミングの会場として全国から選手をお迎えする事となりました。分会としても心からのおもてなしで大会を盛り上げたいということで、団体登録を行いボランティア参加することにしました。

彦根市で行われる国スポ、障スポの閉会式には式典班、入場整理班として８名が、地元のスポーツクライミングではリハーサル大会や本大会には、おもてなし担当や環境美化担当として９名が活動することになっています。

今後も分会独自の交流事業を模索しながらレイ大の良さも広め会員を増やしていきたいと思っています。

編集後記

同窓会本部事業の一環である、「わたＳＨＩＧＡ輝く 国スポ・障スポ２０２５」のボランティア活動に、国スポ開会式、障スポ開会式、障障スポ閉会式の三回、参加することとしました。大阪・関西万博観覧や中国湖南省長沙市にある、「快楽老人大学視察研修旅行」の参加など、人生最後の大きな出来事とに率先参加し、少しでも心身ともに健康寿命の延伸に、つながればと、「わくわく・みゃくみゃく」しているところです。

担当　第 30 期 地域文化　堀江 勇夫